



# 天橋立名松リバーズ だより

■あの日(2004.10.20)から丸一年...

10月20日(木)～21日(金)

松が根を張り、元気になる為に...  
朝から夜を徹して炭をつくる!

みなさん、本当にご苦労さまでした!

昨年10月20日、台風23号が天橋立を襲い、1993  
本の名松たちが一瞬にして命を途絶えましたが、丁  
度、丸一年のこの日(10月20日)山田輝之氏(文殊)

所有の農地(宮津市須築)をお借りし、炭づくりを  
実施しました。  
当日、朝9時から約30人のリバーズメンバーが駆  
けつけ、早速、初めての炭やきにチャレンジしまし  
た。マニュアルを参考に、こうする方がよい、いや、  
こっちの方がいい、ガヤガヤ議論しながら楽しい作  
業です。マニュアル通りなのか火をおこし、後は  
煙の色などチェックです。  
夜は火を囲んで、みんなで楽しい余興をしました。  
徹夜明けの朝は、持ちこたった炭出しです。みんな  
の思いのこもった貴重な炭がで上がりました。  
翌日、炭の一部を「橋立明神」へ奉納しました。  
みなさん!本当にお疲れさまでした。

## 「伏せやき法」にて 初めての炭づくり



1 異形形の穴を掘って...



2 筒水栓を入れて...



3 煙突も取りつけ...



4 土をかぶせて取崩し...



5 じよいは炭火...



6 煙の色をチェック...



7 火を囲んでの余興...  
トップバクターは、ハーサン  
釜によるホヤを洗才...



8 宮津市立図書館 池田隆典と  
上辻さんによる戸校の奉納のお祭



9 西川輝余典による津飯三映鏡



10 大浦さんによる岩釜



11 翌朝、取り出される炭火...



12 仕上げはどうか?



13 大きな炭の塊っが、  
こんなに小さく...



14 立派な炭火ができました



15 橋立神社へ炭火の奉納



16 日吉神社常務  
秋さんによる炭まき

# ～ 炭やきの方法 / 伏せ焼き法 ～

⑥ 空気の量を調節する



焼の勢いが落ちたら、通気口を指2本くらい幅に窄めて、たき口をエでふさぐ

⑧ 消火する



ほげ、ひと焼たつと煙の色が青っぽくひかり、やがて透明になる。たき口と押埋口を完全にふさぎ、冷えるのをまつ

⑩ 炭を出す



5-6時間たつて、窯がじゅうぶん冷えたらエを取り除き、トタンをあげ、木炭を取り出す

④ 土をかける



・盛り土の厚さは10cmくらい  
・このとき押埋口に煙突を取り付ける

⑦ 点火



・丈夫さのよい枯れたスズの葉などをたき口につめて火をつける  
・じょじょにほきまくて、火に勢いをつける。煙突から出る煙が勢いよく吹き出るようになるまで、1-2時間おいて

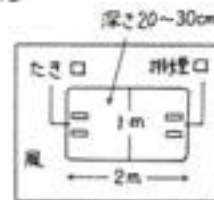
⑨ 本節液の採取



炭焼のときに出る煙を液体にしたものを本節液という。マダケの葉のぬいしたものと混ぜて本節液採取装置をつくる

炭の焼き方 「伏せ焼き」

① 窯をつくる



風の吹き込む方向に穴を掘る



④ 枝葉をかける



・枝葉で20cmくらいおおう  
・窯の側面と炭材のすき間にもじゅうぶんつめ、すき間を少なくする

② 尺木を並べて土台をつくる



・穴の四隅に直径20cm、長さ40cmの尺木をおく  
・炭材が直挿、地面にふれぬようにする

⑤ トタン板をかぶせる



③ 炭材をつめ込める



・長さ60cmくらいに切った炭材は藁木の上に細いものからすき間なく積み重ねる

# 倒木松で炭作り



倒木松を使って炭作りをする「天橋立リバース実行委員会」会員ら（宮津市須津）

## 宮津のグループ 再利用目指し

台風23号で、約二百本の倒木被害があった天橋立（宮津市）の松の再利用を目指す「天橋立リバース実行委員会」（幾世淳紀委員長）は二十日、同市須津の農地で倒木松を使った炭作りを行った。参加した会員ら約五十人が松の再生を願い、作業に取り組んだ。

この日は、約二三分の松を用意、地面に穴を掘って松を入れ、上から草やトタンをかぶせ、最後に土で覆う「伏せ焼き」と呼ばれる手法で焼いた。会員はなれない炭作りに悪戦苦闘していたが、たき口から火を入れ、煙突から煙が上がると、周囲から安堵の声が漏れた。炭は、二十一日の昼ごろに取り出す予定。

幾世委員長（左）は「市全体に松の香りが漂うまで活動を続けていきたい」と話している。

2005年10月31日 京都新聞掲載

## 土壌改良に役立て

### 倒れた松を炭焼き

京都・天橋立  
約5000本の松のうち  
193本が強風で倒れた京  
都府宮津市の日本三願・天  
橋立では、市民グループ「天  
橋立名松リバース実行委員  
会」（約80人）が20日、倒  
木を炭にして、強風に耐え  
た松の土壌改良に役立てる  
試みを始めた。

メンバー約20人が午前9時ごろ、天橋立近くの農地に集まり、まき約300本を炭に入れて点火。まきは半日ほどで炭になり、来年早々にも松の木の周囲に埋めるといふ。幾世淳紀・実行委員長62は「倒れた松も生き残った松のために炭になることを喜んでくれると思う」と話している。

2005年10月20日 読売新聞 夕刊 掲載【縮小】

## 天橋立の松、復活へ炭まき

実行委員会が  
倒木で手作り

天橋立で台風被害にあつた松の再生や再利用に  
取り組む宮津市の「天橋  
立名松リバース実行委員  
会」は倒れた松で炭を手  
作り21日、橋立神社に一  
部を奉納した。台風に負  
けない根を養う松を育て  
るのに役立ててもらう。  
天橋立の白砂青松の松  
葉木は、昨年の台風23号

で直径10センチ以上の193  
本が倒木するなど、昨年  
1年間で計約2000本が  
倒れた。雪舟が「天橋立  
園」で描いた室町時代の  
約800本に比べ、現在は  
約5千本と過密に生  
育。土壌がよくないのも  
強風に倒れた原因とみら  
れている。  
樹木炭から松の炭をま  
きの儀式があった。同実行  
委員会の幾世淳紀委員長は  
「新しい命が吹き込ま  
れ、感激した。松で灯籠  
や観光標識のほか仏像も  
制作中で、再利用に向け  
てさらに頑張っていきた  
い」と話していた。

2005年10月21日 朝日新聞掲載【縮小】

■10月17日(月)

炭づくりのために…  
松材の割木作業に、みんなで汗！

10月17日(月)午前9時より、野間野さん所有地に保管していた松材をチェーンソーで切り、割木にし、トラックで山田さんの農地へ搬入しました。チェーンソーなどご協力くださった方々、リバースの仲間たち、みなさんご苦労さまでした。



割木作業もカッコイイ  
伊豆の吉田くん



チェーンソーの勇敢な  
吉田一夫さん



なれない作業にも  
みんな熱心！

■11月2日(水)

天橋立海浜清掃実施

文殊自治会・松風会・文殊繁栄会など多数のみなさんの参加により、阿蘇海・宮津湾側の浜辺がすっきり美しくなりました。



阿蘇海の清掃

■11月9日(水)

天橋立観光協会府中支部の会員が、船越附近の清掃・草刈りを実施しました。

■11月2日(水)

天橋立を守る会 二役会 開催

11月2日(水)午前10時30分より、天橋立駅2F会議室於、天橋立を守る会(森会長)・三役会が開催され、与謝野節子歌碑建立の件、浅やきの件、天橋立公園ビジョン策定など、各松リバース事業との連携強化などを確認しました。

■第2回

天橋立周辺景観まちづくり検討会 開催

11月4日(金)京都府土木建築部都市計画課主催の下、第2回検討会が宮津市労働会館会議室で開催され、天橋立景観のあり方について、活発且つ、積極的な意見が出されました。リバース関係者も多数参加しました。



海上から景観を視察(津原地区)

■10月18日(火)

第12回 名松リバース実行委員会 開催



第12回 リバース実行委員会

10月18日(火)、第12回実行委員会が午前10時30分より天橋立駅2F会議室で開催され、10月20日の浅やき、10月21日橋立明神への奉納などの行事、松材の一括管理、ベンチ制作など創作活動の展開、松の香りただようまちづくり、天橋立名松リバース基金等々、活発な意見交換をし、方針を決定しました。

■10月31日(火) リバース正副会議 開催

午後8時より、天橋立組合事業会(株)2F大会議室で、第二章に入ったリバース活動の今後の展開について、方針を総合調整しました。

詳しくは、第13回 実行委員会でご発表します。

■11月5日(土)

若狭湾生物同好会のみなさん  
天橋立を視察・リバースと交流



熱心な同好会のみなさん

去る9月、舞鶴での交流を契機に、11月5日(土)若狭湾生物同好会(舞鶴・篠田会長)のメンバー20人が、天橋立視察にお越しになりました。当日は天気にも恵まれ、楽しい交流のひとときになりました。今後リバースにとって、同好会の天橋立の生物調査研究から学ぶことが多いと思われます。

■ 10月29日～30日 吉津地区文化祭 開催

宮津市立吉津小学校の全校生が  
創木松でつくった松メール絵手紙を

展示し好評！



松メールの作品展

10月29日(土)～30日(日)に開催された吉津地区文化祭作品展に、吉津小学校全校の絵手紙が展示され、見学に来た地域の人たちの目を惹きつけてくれました。昨年の台風23号で倒れた天橋立の松を、薄く輪切りにし絵を描いたもので、10円分の切手を貼ればそのまま郵送できます。

■ 天橋立の創木松が「黒谷和紙工芸の里  
和紙工芸研修センター」の看板に！

11月6日(日)、後部市に「黒谷和紙工芸の里・和紙工芸研修センター」がオープンしましたが、



立派な看板が掲げられました

その看板に天橋立の創木松が使用されました。嬉しいことです。来春には、リバース事業に全面的にご協力・ご支援いただいている京都伝統工芸専門学校と和紙工芸専攻が、同研修センターに併設される予定です。みなさん、是非一度、黒谷和紙工芸の里にお出かけください。

■ 11月27日(日) みやづ歴史の館 文化ホール於 園遊PM2時(開場PM1時30分)  
ムジカASO チャリティ・グリーンコンサートに、一人でも多く参加しよう！

天橋立名松リバース実行委員会は、その趣旨に賛同し、心より応援しております。

宮津市文化団体協議会所属「ムジカASO」代表の福田祥子さんより、天橋立名松リバース実行委員会に左記のメッセージが寄せられました。

『天橋立名松リバース実行委員会のみなさん、こんにちは。私達「ムジカASO」のムジカは、ドイツ語でMUSIC(音楽)、ASOは内海のアサヒを意味しています。結成して5年目に入りました。』

メンバーは、学校の音楽教員を中心に、現在プロとして活躍している音楽家も入れて活動しています。演奏曲の心を伝えることや、阿蘇海のこの土地に暮らし、音楽を通してふるさとを愛する人達の心が響きあえることを目指して練習に励んでいます。

さて、昨年台風23号により天橋立の名松193本の命が奪われましたが、いち早く、その再生に取り組んでおられる天橋立名松リバースのみなさん、心からエールを送ります。

私達「ムジカASO」は、音楽を演奏することを通して、何かこの地に根を立たせていただけることがないだろうかと考えました。

そこで、平成17年11月27日(日)、みやづ歴史の館にて名松リバースへの基金チャリティコンサートを開催することに致しました。そこで、どのようなコンサートの内容にすれば、宮津市及び丹後の皆様と共有できるのか?という話を話し合い、構成詩「リバース天橋立」を企画プロデュースすることと致しました。

今回の演奏会では、この構成詩「リバース天橋立」を音楽の空間で、演奏者とお客様が一つになり、橋立の過去・現在・未来をしっかりと見つめていきたいと思えます。

強風・大雨によってなぎ倒された松は、各木とつながり、再生活用をすることが出来ます。私達の使用している楽器のピアノ、バイオリン、木管楽器、マリンバなど、木の種類は違っても、木の温かい音は、他には決して類をみません。今、生息し続けている松を将来の私達の子孫に大切に継承していきたいと思えます。一緒に感動し合える音楽会に参加してみませんか?

なお、今回は宮津在任の東京芸術大学音楽学部音楽学科卒で、関西二期会のソプラノ歌手として活躍されている原多鈴乃さんを中心に、イタリア・ミラノ留学で勉強された本場のオペラ、ブッチェーニ、ベルデイ、モーツァルトのハイライトを聞かせていただこうと思えます。天橋立名松リバースのみなさん、ぜひお越し下さい。』

天橋立名松リバース実行委員  
会でも、チケットを取り扱っ  
ております。希望者は事務局  
までご連絡ください。



### ■第3回

## 京都観光ブランド推進研究会のまとめ

9月30日(金)京都市のキャンパスプラザ京都で開催された会議の席上で、森世委員長・細井ビジョン部長が、各松リバースのプレゼンテーションをし、その研究会のまとめが送られてきましたので報告します。

今後の参考にしていただけたら、幸いです。

### 主な意見

#### ①天橋立名松リバース活動について

- ・地元の自発的な活動であることに感銘を受けた。
- ・台風による松の倒木の原因が、植樹数の増加や土壌の酸性化にあるという話が興味深い。
- ・ロハス革命 (Lifestyles of Health and Sustainability) と称し、地球にやさしいライフスタイルの先端の取組である。これからの観光は、「環境・景観・地球」がキーワードである。今後も他の取組との連携を図ってほしい。
- ・地域づくりという観点でブランドを形成するものであり、今後の活動に期待したい。
- ・踏み入れる木の痛みを知り、標足で歩ける環境が大切だと知ってもらうため、観光客に標足で歩いてもらう企画も考えられる。

- ・地元住民にとって、観光地として目指すべき方向性が示されたのではないかと、もともと天橋立の松に誇りを持って取り組んでいたとのこと。

#### ②環境ブランドについて

- ・ブランドは地域で集積されてきたもの。地域における意識付けが大切。子どもに小さい頃から地元の環境を知ってもらう教育が大切。これによりお客への十分なおもてなしが可能となる。そのため、大人の意識改革も重要である。

- ・エコツーリズムは、環境性と経済性の融合が重要である。利便性・快適性を犠牲にしなければならぬ場合がある。旅行会社、旅行者、地元住民が理解して、仕上げていくツーリズムである。

- ・アジアからの観光客に対して、琵琶湖の水問題、天橋立の名松リバース活動など、環境問題への取

組をインバウンドで紹介する観光が、今後注目できる。

- ・京都は発信が上手でないとと言われる。丹後王国のことについてもあまり知られていない。丹後の自然は残してきた自然との認識があり、今後リバース活動等により、丹後を環境に敏感な地域にして、丹後のブランドを作り上げていただきたい。

- ・ジャパンブランドは環境ブランドであり、日本を代表する京都の環境ブランドは世界に誇ることが出来る。今後、教育旅行の対象として、エコツーリズムを打ち出すためのソフトのプログラムができれば素晴らしい。

### ●リバース館 来訪者の声

(名松リバース館 於)

- ・木に力を感じます。
- ・神戸より来ました。
- ・とにかく色々と楽しむ事が出来、大変良い旅になりました。
- ・港町より愛をこめて...

- ・あくまで、かわいいですね。
- ・松の限らない利用法が素敵です。

- ・いろんなボランティアがあるんですね。
- ・環境問題は、色々な所に出て来ていますね。共に自然のため、子供達のために頑張らしましょう。PS. 板を2枚いただいたのでございます。机の上にお金をおいいただきます。

9月28日 中川さま

- ・今日はご多忙の中、ご丁寧な説明を聞き、誠にありがとうございました。
- ・様々な名松リバースの取組みを知り、大きな感動を覚えました。こうした皆様の活動は、愛する郷土の誇りを守り育てることでしょう。そして、100年後、1000年後へと引継がれることと願います。

- ・どうか、皆々皆様の今後のご活躍を期待します。
- ・また、興々もお身体をご自愛下さい。本当にありがとうございます。

11月4日

東京都八王子市

小沼さま(都庁職員)



熱心にご覧いただき小沼さま

# 文殊菩薩像作り 急ピッチ

園部の京都伝統工芸専門学校生

## 天橋立の倒木松再生へ

### 授業時間 来春に完成

京都伝統工芸専門学校 像彫製専攻の学生約六十人、園部町小山東町の学生たちは、宮津市と連携し、天橋立の倒木松再生プロジェクトの一環として、文殊菩薩像の製作に急ピッチで取り組んでいる。倒木松を再生させた松を素材として、文殊菩薩像の製作に活用し、天橋立の歴史を伝えるとともに、地域の活性化に貢献したいという思いで、今年からこのプロジェクトに取り組んでいる。倒木松を再生させた松を素材として、文殊菩薩像の製作に活用し、天橋立の歴史を伝えるとともに、地域の活性化に貢献したいという思いで、今年からこのプロジェクトに取り組んでいる。



倒れた松を材料に、文殊菩薩像作りに取り組む学生たち  
(園部町小山東町・京都伝統工芸専門学校)

その後、乾燥させた木材を型取り、本体、台座の大きさに合わせて張り合わせ、今月から像の形に彫り進める作業を授業時間などを活用して進めている。同専攻二年、西野一樹さん(左)は「文殊菩薩の立体感の出し方が難しいが、専らでもできる作品を作りたい」と目を輝かせる。

同校の須藤光昭教授(伝統工芸士)は「仏像は一般的にはヒノキが材料。松は、やにがあり、木目間の堅さの差も大きく像を作るのは難しいが、中途半端な作品はできない」と学生の指導に力を入れている。

像は来春二月の完成を目指している。

11月9日(水)、文殊菩薩像製作に取り組んでおられる京都伝統工芸専門学校を、森世宗員長・山本事務局長・相楽総務広報部会長の3人で訪問し、松村校長・須藤教授・仏像彫製専攻の学生さんたちと交流しました。

須藤教授のご指導の下、熱心に取り組んでおられる様子を見、リバーズメンバー一同感激しました。



着々と仕上がっていく文殊菩薩さま、今から楽しみます



須藤教授によると文殊菩薩は獅子に乗り、髻の古色仕上げで製作とのこと



一生懸命に製作される仏像彫製専攻のみなさん



文殊菩薩像製作に取り組んでいたく仏像彫製専攻の須藤教授



## 天橋立で「リパス運動」

昨年、天橋立を直撃した台風23号は約2200本の名松を倒木。この倒木した松を再利用し、松の生葉を畑にまき、おもしろい道徳されたのが「天橋立名松リパス実行委員会」(発起人 松本 隆長)文芸社社長)で、こ

今年5月に開催  
したリパス展

木松を集中管理する場所も  
天橋立インター近くの高速  
道路高架下に設けた。

ねまで研修会やワークショップ  
を叩くなど様々な事業を手  
がけてきた。

今年5月には松を活用  
し、芸術性豊かな作品展示  
や創作活動の拠点「天橋立  
名松リパス館」を開館。

現在取り組んでいるのは  
強風に耐え抜いた松がさら  
に堆中に根を張り、パワ  
アップさせる炭づくり。個

京都府教委による解体修理が行われている京田辺市大住の澤井家住宅(重文)で、柱や梁などの組み立て作業が1日までにスタートした。昨年の台風23号で被害を受けた天橋立のマツ材も、大梁として扱われ、「第二の人生」へ踏み出した。

## 京田辺・澤井家住宅



台風23号で被害を受けた天橋立のマツを再利用した大梁が据えられた澤井家住宅(京田辺市大住)

# 天橋立マツ 被 台風23号 大梁で再生

2005.11.2

澤井家住宅は、江戸中期の一七四〇年に建てられた商家。皇族とかわり、の深い尼寺・善華院領の代官を務め、幕末の始末で、府教委文化財保護部門の委託、一時意家の課は「木にはほろ穴を開けたとき、ノミの刃が欠け

## 自然の曲線 生かし重厚

修理は昨年一月に始まってしまっただけだった。すべての材木や礎石を取り外し、傷んだ部材の修復や新しい材木の加工を行ったほか、基礎はコンクリートで固め、耐震性を強化した。天橋立では台風で約二百本のマツが被害を受け、だが、文化財修復に再利

用しようと、二月に同住宅に十九本を運び込み、乾燥や加工を行っている。土間の上に据えられた大梁は直径四五一・六六

## 松が未来に遺すもの

「天橋立名松リパス実行委員会  
中間報告書」が発刊されました！

128ページからなるドキュメンタリーです

ご希望の方は、事務局までお問い合わせ下さい。

心ある方には、この記録集の代金をリパス基金にさせていただきます。届けています。趣をおくみどりいただきご協力ください。





● 松の香りただようまちづくりを！

第一弾

まちなかに、松材のベンチ設置を企画！

制作部会（西川部会長）では、例木松を使い、府中・文殊・宮津地区のまちなかに、ベンチの設置を企画中です。メンバーの大野さん（クラフト職）・故金さん（カールガネ家製所）のデザインで、モデルを製作していただきました。



このでき上がったモデルベンチは、リバース館1Fに展示してあります。是非、みなさんにご覧いただきたいと思えます。価格などは検討中です。

今後は、統一デザインによる案内標記などの看板・サイン開発も考えていきたいと思っています。お問い合わせは、事務局まで。

● 宮津の岩瀬佑子（秀苑）さん書の大作を  
リバース館にご寄贈していただく

金冬心風の書体で見事に書かれた力作（宮津市民文化館に所蔵）を、このたび各松リバース館にご寄贈いただきました。感謝感激です。早速リバース館に展示させていただきます。是非、ご覧ください。各館さんにご厚意本当にありがとうございます。



縦2m40cm／横60cm

※本文



昨年日本列島を直撃した台風は天橋立の一九三本の命を絶つた。突然襲った地獄絵図多くの人が懸命に松並木の復元に立ち向かった。倒れた松をたはばけをわつたまま樹皮に手をあてると涙もりを感ずるつゆやさが聞こえる。松との共生は自然との地球との共生日本三景天橋立に彼らのモニュメントを刻もう。天橋立名松リバースフォーラムから 平成十七年の夏に 秀苑かく

■ 11月8日（火）朝9時より、約15人のメンバーで  
名松リバース館 リニューアル！

11月8日（火）朝9時より、約15人のメンバーで各松リバース館に保管していた松材・使を、喜多倉庫へ搬出しました。なんとなく倉庫的になつていたりバース館も、すっかり化粧直しをし展示館らしくしました。これで来館者にも楽しんでもらえそうです。当日、汗していただいたメンバーのみなさん、ご苦労さまでした。



すっきり！広く！

リバース館の松材などを、喜多倉庫へ搬出



すっかり化粧直しをし、展示館らしくなった新築リバース館！是非、立ち寄ってください

■ ABC朝日放送「ユースYOU」(10月21日)  
NHK「発見 ふるさとの宝」(10月28日)  
「名松リパースドラマ取材を放映」



第二宮本会館 丸山さん  
宮本自治会長の丸山さん

去る10月21日と25日、リパースの活動などがT.V.Tで放映されました。どちらも好評でした。ABC・NHKの取材担当のみなさん、ありがとうございました。



炭やき風景



見返りの碑の前で、無慮自治会長・リパース副委員長の中井 元さん  
※ ご本人が、丸山氏を複製されましたので、このシーンは当日放送されませんでした。

天橋立名松リパース基金に  
ご協賛いただきますよう、  
心より切にお願い申し上げます

松材の一括集中管理、炭やき、創作など順調に進み、リパース物語も第二幕に入りました。ここまでやってくれたのも多くの市民の善意のお陰と、改めて心より感謝申し上げます。  
今後は、「松の香り」ただよう町づくりをめざして、創作・天橋立公園ビジョン策定などに全力を注いでいきたいと考えています。



天橋立名松リパース実行委員会 会計 事務局

※ 組織体制の強化も含め、一擧人事を変更します。

会計課長 河島洋文

河野聖五

奥田厚

河野武四郎

尾谷忠二

天橋立名松リパース基金  
「ご協賛ありがとうございました」

- ・宮津市立吉津小学校校友会さまより 二万円
- ・大鏡先生より「あんみ通コンサート」にて募金 二万六千円
- ・京都文化博物館百三三又園にて設置の募金箱より 四千六十三円
- ・養神社にて設置の募金箱より 一万五千八百七円
- ・文珠荘にて設置の募金箱より 一万一千三百五十円
- ・リパース館にて設置の募金箱より

9月分 六千五百円  
10月分 五千九百五十円

お知らせ

■ 11月16日(水) 午後7時30分より  
会計・事務局会議を行います。

■ 11月16日(水) 午後8時より  
創作部会を開催します。

いずれも、天橋立ビューランド2階会議室 於

● 第13回 実行委員会の「案内

11月17日(木) 午後7時30分より

KTR天橋立駅2F会議室で開催します。  
万難を排してご出席のほどを！

■ 編集後記 ■

11月に入り、天橋立もふり組こし「おこし」が吹きつける丹後特有の季節となりました。カニのシーズンに入り、多くの人々が丹後を訪れ、多くの獲り鳥たちも丹後に飛来してきます。人や鳥たちで、まちなかがいびきわっていています。にぎわうこと、まちが元気になることはとても嬉しいことです。訪れる人、地元の人、そして獲ってくる鳥や松たちと共にこの季節を楽しみたいですね。これからの観光は、「環境・景観・地球」がキーワード、「過性の事業から持続性のある地域観光への移行が大事なポイントである」と思っています。

リパースドラマは第二幕の幕が開きました。松：自然との共生を原点に、創作活動・公園ビジョン策定：今後も様々な活動が必要になります。松の香りただよう町づくりをめざして、「一歩一歩、歩んでいきたい」を思っています。

